

清友

No.167

2023年7月
(2023年7月4日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



ウズラバハクサンチドリ
(月山山頂のお花畑にて)



小石川後楽園「月影橋」前にて



「イヤ〜感想(^.^)ランチを楽しく美味しく

く頂けたのが最高(^.^)!!小石川後楽園に入る前から陸軍跡や幸田露伴家や石垣の話になるほどね〜です(^.^)園内の説明も盛りだくさんです!いふんと賢くなりました(^.^)ただのお花見で終わってしまうところを何

満開のハナショウウツと
ホテルランチbuffet
初夏のフィールドワーク

10倍も有意義な日でした♪ありがとうございました(^.^)またお世話になりたいです〜♪」

6月6日に行った春(初夏?)のフィールドワーク(戦没者追悼と小石川後楽園)ダイブな探訪・ホテルランチbuffetに参加した箱田さん奥様のお姉様の感想です。(本文は絵文字が楽しかったのですが、表現できず残念!)

満開のハナショウウツ最高!

10時、「後楽園」駅集合、最初の目的地は東京都戦没者霊園、遺族会の願いにより建立された施設で、日本の戦没者のみ祀る姿勢を批判的に見学。霊園のまわりでは春日通りの由来や陸軍の施設跡、幸田露伴の話など盛り沢山の説明。

小石川後楽園までの道すがら、江戸期から明治期にかけての石垣の構造上の違いを見聞。小石川後楽園では、中国趣味と京風、各名所を模した



ホテルメトロポリタンエドモント「ベルテンポ」にてランチbuffet

豪華ランチで満腹・感激

最後は、これが本当の目的(ホテルランチbuffet)、美味・満腹、贅沢な時間はあっという間に過ぎました。参加した17名の「楽しかったね〜」という感想が励みになります。

ワンダーランドぶりをじっくり見学、丁度満開のハナショウブは感激でした。案内は戸枝事務局長。歴史、文化、地理、建築、アヤメとカキツバタ、ハナショウブの見分け方までのウンチクに、「百科事典みたい!」と「ホント?」の声が…。

東京清掃労働組合 退職者会 第15回定期総会



会員拡大、親睦行事充実、社会的課題への積極的参加を基本に活動強化

新副会長に岡澤さん選出 喫緊の課題は役員補充



挨拶と会長と副会長 代理 佐藤 副会長



吉田 総会議長

第15回定期総会を6月16日、清掃会館で開催しました。会員の参加者は25名、委任状提出は45名でした。佐藤副会長の司会で開会、昨年総会以降亡くなられた穂山千恵子さん（遺族会員）、田原千十世さんを悼み黙祷を捧げました。総会議長は、今年も吉田雅明

さんに担っていただきました。軍拡より国民生活優先を！

丹野会長メッセージ

病気の治療のため総会を欠席した丹野会長のメッセージを佐藤副会長が代読、「岸田政権の悪政を止め、軍拡より国民生活優先の政治確立」が訴えられました。また、自身の病気に関して「昨秋から異常があり、4月に食道癌で療を行うことになった。少なくとも7月一杯は治療専

念が必要」とのことでした。早期回復を願うばかりです。

現業賃金水準の引上げを！

東京清掃多田委員長

多田委員長が紹介され、代表して多田委員長が来賓挨拶。「コロナ禍、東京清掃が動きにくい中で退職者会の活動に感謝。東京清掃もコロナ前に戻すことにした」「今年で全区一組の新規採用が実現できる。長いブランクで組合員間コミュニケーションがとれないとか、役員継承ができないなどの困難に直面しているが、克服したい」「賃金確定闘争では現業賃金の引上げが急務。一昨年の確定闘争で『業務職給料表は高い』と当局に言わせなかった。職務に見合う賃金水準を要求し、当局との間で研究・意見交換の場を設置した。行政職並みの水準確保



東京清掃多田委員長 坂部副委員長 渡辺書記長 秋原書記次長

と、任用制度改善を強く求めていく」と決意を示しました。

退職者運動に一層の協力を

自治退都本部楠田会長

都庁退連合小林会長

上部団体から挨拶、全日本自治体退職者会東京都本部楠田会長は、「年々会員数が減っている。高齢者雇用制度の変化や現職が組合活動をしにくくなっていることが影響している」「麻生が言った『ナチスに見習う』実質改憲が進行し、危険な状況だ。連合芳野会長は立憲と国民の連携と云うが、野党共闘でないと勝てない」。

東京都庁職員退職者連合会小林会長は「退職者会の創設理念は、①退職後の交流と親睦、②共済・互助制度の引続き利用、③年金・医療など社会保障改善に対応する運動体」にあると説明し、「コロナの制約解除により、昨年、対面の総会と日帰りバス旅行を実施できた。今年は宿泊学習会も準備中」と、

【3面に続く】

秋の行事予定



横須賀・猿島の砲台跡

9月に学習交流会

『秋の学習会』は、衆院選も視野に入れて、政治課題です。

▼テーマ……現下の政治情勢と闘いの課題（仮題）

講師は平和フォーラム役員

▼開催時期……9月中旬か下旬

10月に日帰りツアー

昨年の「へみさき満喫ツアー」はバスの手配など面倒なことがなく、主催者としては楽しんでました。今年も二番煎じの企画。

◆実施時期……10月中旬頃

◆旅行先……横須賀

◆実施内容……京急『よこすか満喫きっぷ』を各自で買っていたいただき、現代のラピュタと人気の「猿島」をメイ

ンに横須賀で遊ぶ参加費……『きっぷ』代を参加費に代える

という方式を考えています。

『よこすか満喫きっぷ』は、①京急の往復乗車券と京急バスフリー乗車券、②食べる券（横須賀の美食ゲット）、③遊ぶ券（各種施設の割引券など）がついていてお得です。

11月に秋のフィールドワーク

秋のフィールドワークは、

●実施日……11月を予定

●実施案……ポラントニアガイドの案内による谷中散策、日暮里集合く谷中散策く日暮里でランチ・解散

来春以降の行事も検討中

◆新春の集い

開催日は1月20日（土）か27日（土）予定。新しい会場に変更すべく、探しています。

◆演芸を楽しむ会

『国立演芸場』が建替えにより閉鎖となるため、新会場を検討中。候補は、新宿末広亭、上野鈴木演芸場、浅草演芸ホール、池袋演芸場ですが、落語にこだわらず観劇も視野に…。

〈持続可能な組合目標〉テーマに開催

6月11日、東京清掃第47回組織集会在晴海の宿泊型研修施設で開催されました。戸枝事務局長と頼瀬幹事が参加。

持続可能な組合目標??

全体会で、各支部からの毎月報告をまとめた『公務・労働災害発生状況』統計資料の説明、20年近いブランク後に新規採用を獲得した北支部より、コミュニケーションの取り方に苦労したこと、車付雇

上の問題点など、第五地連から地連の役割としての〈学習会〉と〈交渉担当者会議〉の状況などの報告、最後に青年部より青年層の役割について問題提起がありました。

年代別分散会は面白い企画

これらを受けて、年代別に9分散会に分れて討議が行われました。討議のテーマは、①安心して働き続けられる職場の確立、②信頼した世代づくりと職場づくり。短い時間ながら活発で自由な意見交換が行われ、〈世代別〉方式は効果があったように思います。

これからの東京清掃に期待

集約の全体集会で各分散会報告の後、渡辺書記長が「全区新採獲得の目標はクリアした。継続的新採を獲得しよう。世代間ギャップが深刻、コロナが拍車をかけた面もある。職場で新たな信頼関係をつくっていかう。」とまとめました。これからの東京清掃に可能性を感じられる集会でした。

東京清掃第47回組織集會



敵基地攻撃能力は必要か？

5月31日、「敵基地攻撃能力は必要か、防衛費倍増計画の問題点」をテーマに、自治体退職者会東京都本部の学習会が開催されました。講師は、防衛ジャーナリストの半田滋さんでした。以下、報告です。

安保三文書で大転換

『国家安全保障政策・国家防衛戦略・防衛力整備計画』3文書改訂は安全保障の大転換。敵基地攻撃に関する従来の政府見解は「他に手段がない場合、ミサイル基地をたたくことは自衛として認められる。防衛の都合上の攻撃は認められない」というもの。今回の敵基地攻撃能力はこの政府見解に反する。日米安保条約という他の手段があり、指揮統制機能への攻撃という防衛都合上の攻撃を含むことになる。

敵基地攻撃で日本は破滅

敵基地攻撃は日本を壊滅させる。米軍への攻撃に対する集団的自衛権行使は、日本を

既に敵基地攻撃能力を保有

18年、政府はスタンド・オフ・ミサイルの整備を図った。「敵基地攻撃は目的ではない」(20年加藤官房長官)との政府説明はウソだ。自衛のための最小限度の実力を超えるものとして、ICBM・長距離戦略爆撃機・攻撃型空母は持っているとして説明してきたが、整備される滑空弾・誘導弾やヘトマホークは射程千キロを超える。《いずも型護衛艦》は、F35B戦闘機を搭載できる敵基地攻撃可能な攻撃型空母だ。

米ポンコツ兵器爆買い

防衛関連産業が手を引いたり倒産等もあり、保護育成や国有化が唱えられているが、米国への大量支払いのため、

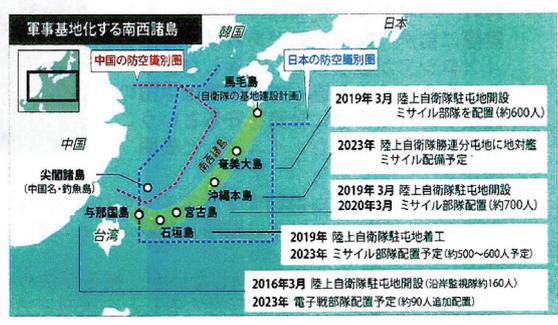
防衛予算を圧迫し、日本企業に支払う資金がないのが原因。無人偵察機グローバルホークは、米空軍が使えないと退役させた旧式を3機も購入。オスプレイは評判が悪く、

米国と日本以外は購入していない。米空軍がクラッチの不具合で飛行停止にしたが、海兵隊は不具合のまま飛行を再開、防衛省もそれに合わせた。イージス・アシオアは、ブースターの落下問題で配備中止

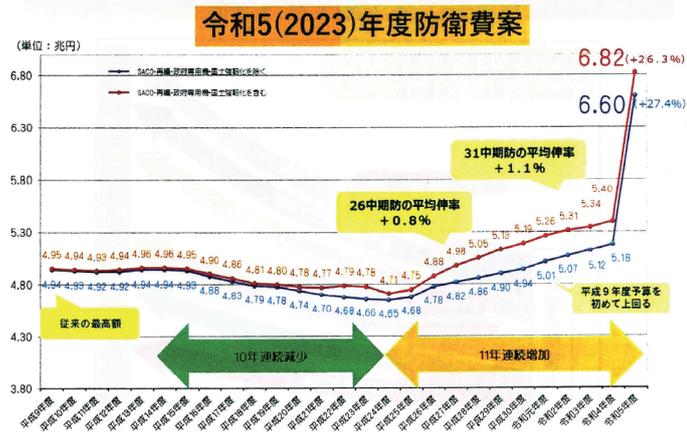
スタンド・オフ防衛能力の配備

▼12式地对艦誘導弾能力向上型の奄美、宮古、石垣、沖縄本島への配備

▼島嶼防衛用高速滑空弾も配備か



(参考2) 歳出予算の推移(当初予算)



また一歩新しい戦前へ

防衛費をGDP比2%に増やせば、赤字国債乱発、増税は避けられない。建設国債を充てるのは『第二の戦時国債』であり、戦争の反省をかなぐり捨てて憲法9条を空文化するものだ。選挙結果を見ながら来年秋、消費税2%増も考えられる。(岡澤 徹記)

岸田政権の悪法ゴリ押し糾弾!

敵基地攻撃能力保有や大軍拡の裏付けとなる『防衛力強化財源確保特措法』、原発推進の『GX推進法』、個人情報ダダ漏れ『改正マイナンバー法』、いのちを守らない『入管法改悪』、一部保守派の意見によりねじ曲げた差別助長の『LGBT理解推進法』など、岸田政権による悪法ゴリ押し「憲政史上最悪」といわれる通常国会の閉会が迫る中、6月の総がかり19日行動



が国会議員会館前で開かれ、国会情勢を反映して、国会議員の挨拶も、岸田政権が進めてきた数々の悪法を徹底批判する発言が相継ぎました。

「議員任期延長」を改憲の突破口にする論を徹底批判

市民からの報告では、『改憲問題対策法律家6団体連絡会』田中隆弁護士は、今国会での憲法審査会の議論状況にふれて「衆院で15回、参院で6回、

審査会が開かれ、『議員任期延長』が改憲の突破口にされようとしている。公明党の主張を踏まえたもので、任期延長は『武力攻撃・感染症拡大・大規模災害などにより、長期間選挙を行えない場合』とし、『延長期間は6か月、再延長可』とするのも選挙の繰り延べは可能であること、参院の場合、『緊急集会』が可能であることなどの反論が行われ、法律専門家の参考人意見では、憲法学会の常識と

して『現行法で対応可能』と陳述され、改憲派の目論みは論破された」と報告しました。

いのちを守らない「入管法」全面改正まで闘い続けよう

「移住者と連帯する全国ネットワーク」の山岸素子さんは、『入管法改悪法案は残念ながら通ったが、いのちを脅かす法律を認めるわけにはいかない。収容や送還が厳しくなると思定され、現場でストップさせる取組みが重要になる。野党4党派が提出した法案は素晴らしい。その成果で法相の『子どもの在留を検討する』という回答を引き出した。労働組合が反対運動の前面に出て闘ってくれた。引続き共闘していきたい』と訴えました。

大軍拡・大増税反対! 改憲反対! 岸田糾弾! をコール

この3年間、コロナにより集会のコールを自粛してきましたが、再開され、この日も「悪法ゴリ押し岸田政権糾弾!」「大軍拡・大増税を許さない!」「敵基地攻撃能力いらない!」「いのちが大事!」「辺野古新基地建設反対!」「改憲を阻止しよう!」などを訴えました。

神宮外苑の再開発反対!



「神宮外苑の森をオフィスビルで破壊するな!」、6月25日、神宮外苑再開発の解体工事が始まった神宮第二球場をヒューマンチェーンで取り囲む行動が行われました。

神宮外苑再開発により高木だけでも70本、低木を含める1万本以上伐採されると試算されており、ユネスコの諮問機関「日本イコモス国内委員会」は伐採しない再開発を提言していますが、東京都は無視。「自然を守れ」という多くの都民の声を聞き入れず、一部の経済的利益を優先する小池都政の姿勢は許せません。神宮外苑再開発反対!